

# 第1章 姫川流域の概要

## 1.1 姫川の位置と概要

姫川は、長野県北安曇郡白馬村の佐野坂丘陵(標高約 800m)を源流とし、白馬盆地で平川・松川などを合わせたのち、山間部を北流しながら中谷川・浦川などを合わせ、新潟県に入ります。その後、大所川や小滝川、根知川などを合わせて平野部より日本海に注ぐ、幹川流路延長 60km、流域面積 722 km<sup>2</sup>の一級河川です(表 1.1, 図 1.1)。

流域は長野県・新潟県の2市2村(大町市、白馬村、小谷村、糸魚川市)にまたがっています。下流部の平野部には、新潟県西頸城地方の主要都市である糸魚川市があります。姫川流域の土地利用は、山地が約 94%、水田・畑地が約 5%、宅地などが 1%となっています。また、河口右岸に隣接する地方港湾姫川港は、下流部の明星山などで産出される良質の石灰石を利用した化学工業、セメント工業とともに発展してきました。取り扱い貨物量も年々増加しており、当地域の海運拠点

としての役割が一段と高まっています。さらに、扇状地や平野部等で水稻が盛んであるほか、古くから北前船による海運や北陸道、千国街道(塩の道, →p.3)の交通・交流の結節点として栄え、奴奈川姫の神話や長者ヶ原遺跡等のヒスイ文化など、この地域における社会、経済、文化の基盤を成しています。近年では、流域の人口はおおむね減少傾向にあります。

また、流域の約3割が中部山岳国立公園・妙高戸隠連山国立公園などの自然公園に指定され、名水百選に選ばれた姫川源流の湧水などがあり、国の天然記念物に指定された小滝川硬玉山地(ヒスイ峡)など、豊かな自然環境に恵まれています。さらに、姫川の急流河川を利用した発電など、様々な水利用が行われており、姫川水系は、治水・利水・環境の面で、重要な意義をもっているといえます。

表 1.1 姫川流域の概要

項目	諸元	備考
流路延長	60km	全国 84 位
流域面積	722 km <sup>2</sup>	全国 79 位
流域市町村	2 市 2 村	長野県大町市、白馬村、小谷村、新潟県糸魚川市
流域内人口	約 1 万 6 千人	
支川数	47	

(国土交通省水管理・国土保全局, 2019 ; 国土交通省北陸地方整備局, 2015 をもとに作成)

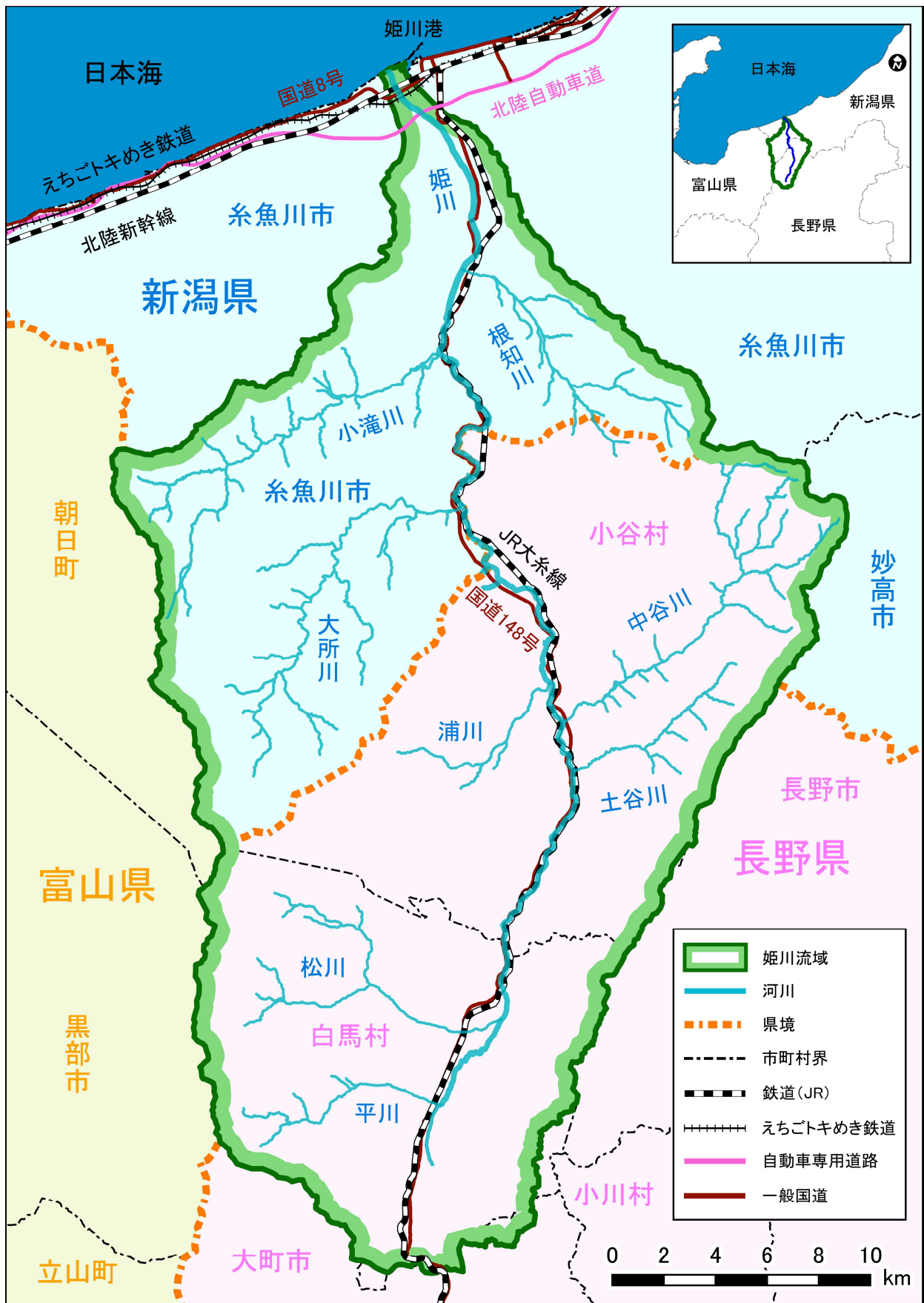


図 1.1 姫川水系流域図